

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.gmb.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)
証 券 コ ー ド	7214

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第59期(2020年4月1日~2021年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。

代表取締役社長 松波 誠

Q 当期の業績について、教えてください。

A 上半期を中心に新型コロナウイルス感染拡大が影響。

当期のGMBグループにおいては、韓国で統合熱管理モジュール等、電動化に対応した新製品の開発や電動ウォーターポンプの販路拡大を進めたほか、米国や中国においては新規取引先への拡販に取り組んでまいりました。また、グループをあげて固定費の圧縮や生産体制の見直し等、経営全般にわたる効率化に努めました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大による自動車販売の世界的な需要減少や、各国のロックダウン等による経済活動の停滞によって新車用部品・補修用部品の販売

が減少しました。さらに、韓国・中国・ルーマニアにおける新車用部品の単価変動などが収益を圧迫いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が57,409百万円(前期比6.2%減)、営業損失は83百万円(前期は70百万円の損失)となり、経常損失は420百万円(前期は313百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純損失は315百万円(前期は910百万の損失)となりました。

Q 現在の経営環境について、お聞かせください。

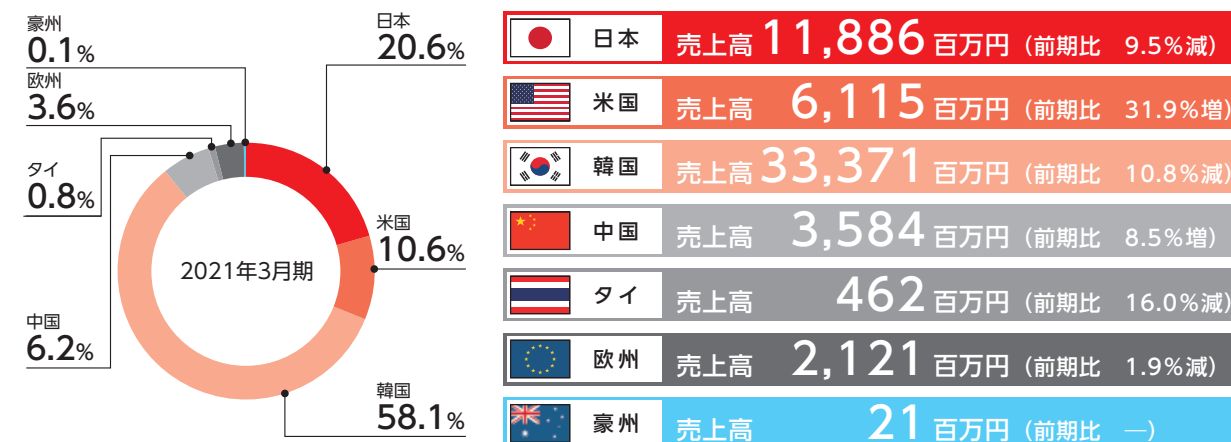
A 全体として緩やかに回復傾向。

世界経済は、新型コロナウイルス感染再拡大の影響により、引き続き非常に不透明な状態が続いております。GMBグループにおいても当第2四半期までは、新車用部品市場においては完成車の生産調整、補修用部品市場においては外出自粛等による経済活動制限の影響を受け厳しい状況となりました。第3四半期以降は、韓国における新車用部品市場や東南アジア等の海外における補修用部品市場において、販売が回復に向かいました。自動車産業におきましては、車載用半導体の供給不足による悪影響は避け

られない状況となっておりますが、需要回復の大きな傾向は継続すると予想しております。

このような環境のなか、新車用部品市場においては、韓国における更なる電動化関連部品の研究開発に資源を投入するとともに、新製品の統合熱管理モジュールの販売を強化するなどのほか、品質の維持改善やグローバルに生産・調達体制の見直しをしてまいります。補修用部品市場においては、新規市場の開拓や新製品の市場投入に取り組んでまいります。

セグメント別売上高構成



Q 配当方針について、教えてください。

A 復配後も内部留保を確保しつつ、安定配当継続の方針。

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。2021年3月期は新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、誠に遺憾

ながら無配当とさせていただきます。2022年3月期につきましては、足元で販売が回復基調であることなども踏まえ、配当予想は年間20円とさせていただきます。

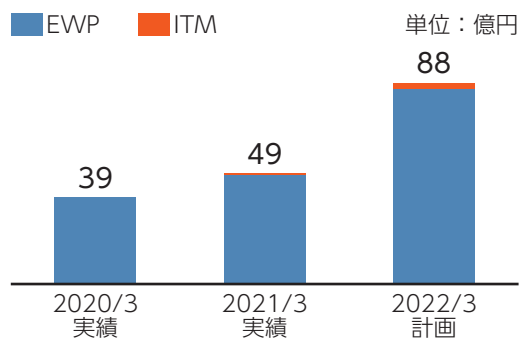
TOPICS

電動化対応

韓国における長年の研究開発の成果が実を結び、電動化に対応する製品の販売が拡大しています。今後も関連製品の研究開発を強化し、更なる販売拡大及び地球環境への貢献に努めてまいります。

販売計画

- 電動ウォーターポンプ(EWP)は投資回収フェーズへ入り、販売拡大
- 新製品の統合熱管理モジュール(ITM)は受注活動本格化し、生産ライン増設中



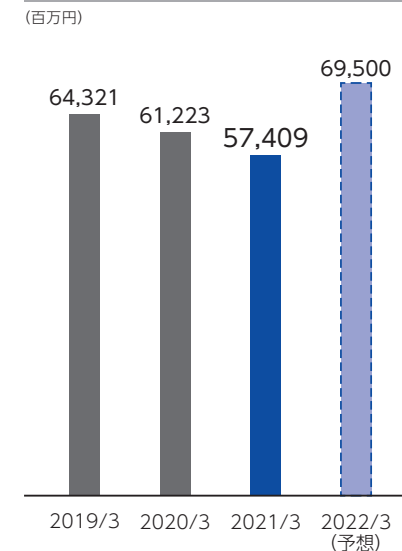
設備投資計画

- 韓国子会社にて、2021年からの5年間で約600億ウォン(約57億円)を投資すると同時に関連人員も増員し、電動化対応製品開発を強化
- 研究開発に対して、韓国政府及び地方自治体から130億ウォン(約12億円)の資金援助を獲得

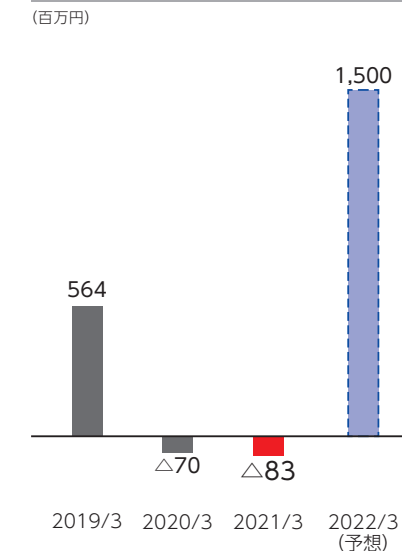


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	計
投資金額(億円)	8	11	16	14	9	57

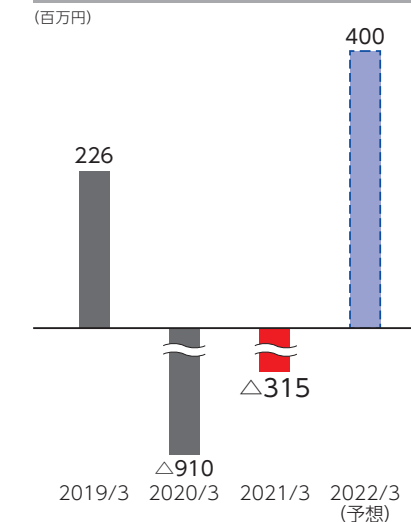
*売上高



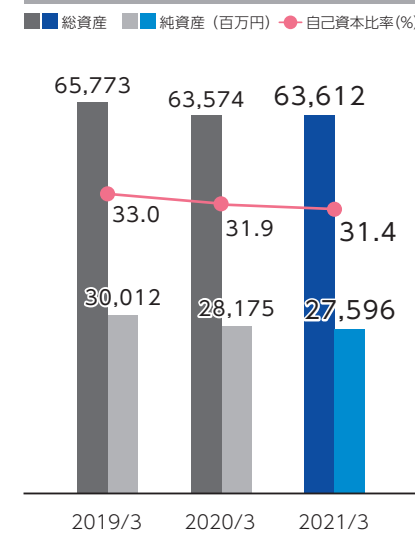
*営業利益又は営業損失(△)



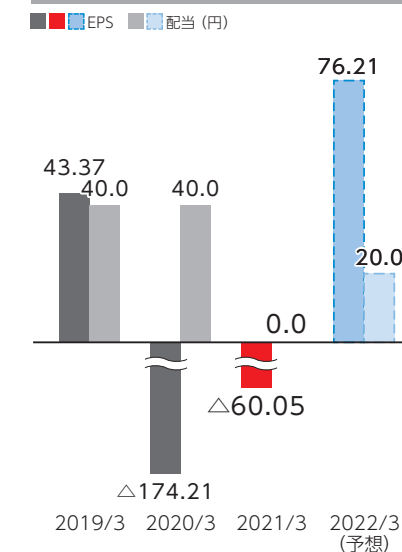
*親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)



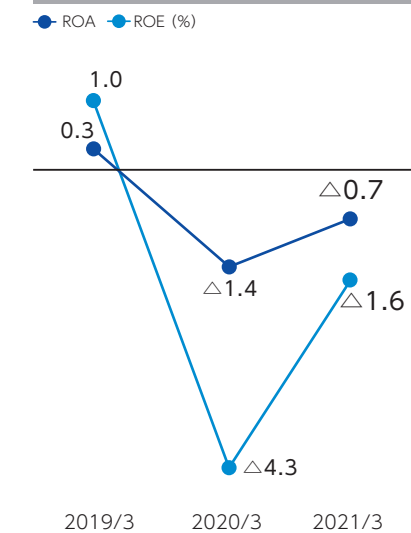
*総資産/純資産/自己資本比率



*EPS/配当



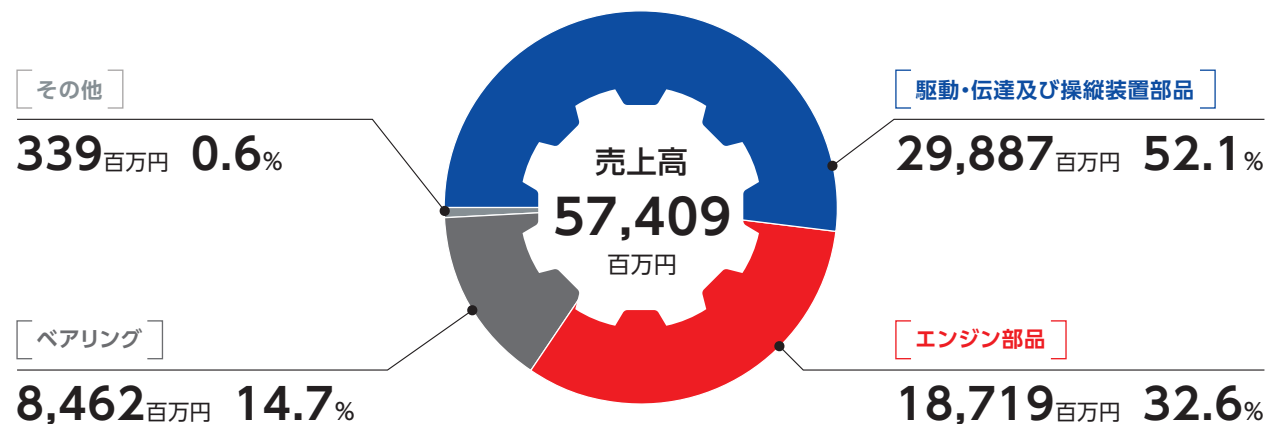
*ROA/ROE



製品分類別の概況

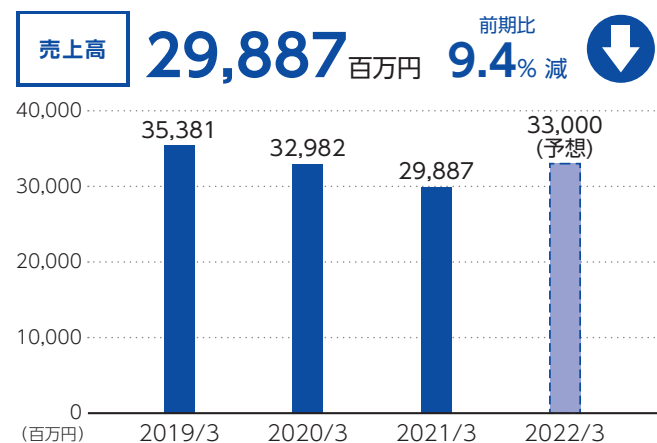
GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用品と補修用品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。

製品分類別売上高構成 (2021年3月期)



駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国の新車用品における等速ジョイントやバルブスプール、欧州の新車用品市場におけるユニバーサルジョイントなどの販売が減少しました。



主な製品



エンジン部品

韓国の電動ウォーターポンプの販売が増加しました。

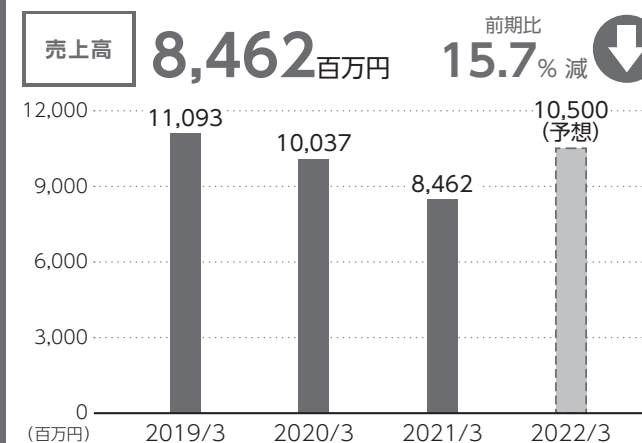


主な製品



ベアリング

海外補修用品市場におけるテンショナー・アイドラー・ベアリングなどの販売が減少しました。



主な製品



連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 2021年3月31日現在	前期 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	37,238	35,635
POINT 1 固定資産	26,374	27,938
有形固定資産	23,615	25,001
無形固定資産	214	214
投資その他の資産	2,543	2,722
資産合計	63,612	63,574

科目	当期 2021年3月31日現在	前期 2020年3月31日現在
負債の部		
流動負債	26,625	25,073
固定負債	9,391	10,325
負債合計	36,016	35,398
純資産の部		
株主資本合計	18,854	19,241
その他の包括利益累計額	1,131	1,035
非支配株主持分	7,610	7,899
純資産合計	27,596	28,175
負債・純資産合計	63,612	63,574

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 自 2020年4月 1 日 至 2021年3月31日	前期 自 2019年4月 1 日 至 2020年3月31日
売上高	57,409	61,223
売上原価	48,002	52,001
売上総利益	9,407	9,222
販売費及び一般管理費	9,491	9,292
POINT 2 営業損失(△)	△83	△70
経常損失(△)	△420	△313
特別利益	66	38
特別損失	141	264
税金等調整前当期純損失(△)	△496	△540
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△315	△910

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 自 2020年4月 1 日 至 2021年3月31日	前期 自 2019年4月 1 日 至 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775	4,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,859	△4,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	194	12
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	9
現金及び現金同等物の増減額	1,068	232
現金及び現金同等物の期首残高	5,223	4,991
現金及び現金同等物の期末残高	6,292	5,223
フリーキャッシュフロー	916	211

当期のポイント

POINT 1

固定資産

26億円の設備投資を実施

当期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を見極めながら慎重に設備投資を行った結果、約26億円の設備投資を実施しました。

POINT 2

営業損失

完成車需要の減少などにより営業損失

完成車需要の減少や、海外のロックダウン等の影響により新車用・補修用ともに販売が減少したことにより、83百万円の営業損失となりました。

ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。



▲トップページ <https://www.gmb.jp>



詳しい財務情報については、**IR情報ページ** をご覧ください。

▲IR情報ページ https://www.gmb.jp/corporate/ir_info/

株式の状況 (2021年3月31日現在)

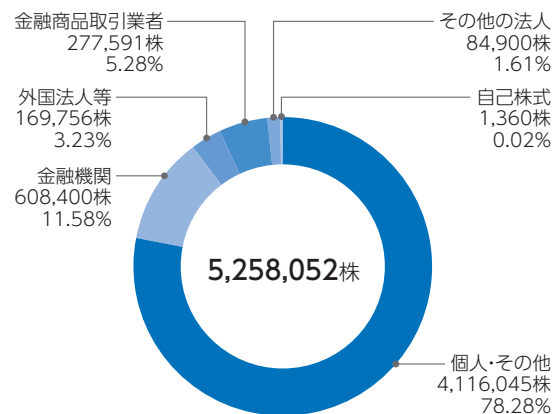
発行可能株式総数	19,000,000株
発行済株式の総数	5,258,052株
株主数	2,626名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,068,432	20.3
松岡 栄子	237,567	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	218,700	4.2
GMB従業員持株会	160,570	3.1
松岡 祐広	124,813	2.4
松岡 祐吉	124,465	2.4
金本 順子	120,406	2.3
楽天証券株式会社	113,200	2.2
庄司 聖吾	104,078	2.0
具 綾子	84,813	1.6

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	GMB株式会社
会社設立	1962(昭和37)年5月
資本金	855,743,201円
代表者	代表取締役社長 松波 誠
従業員数	連結 2,685名 / 単体 316名

役員 (2021年6月18日現在)

代表取締役社長	松波 誠
代表取締役副社長	松岡 祐吉
専務取締役	善田 篤志
常務取締役	大瀧 民也
取締役	生駒 浩幸
取締役	芳村 朋信
取締役	河田 一良
取締役	梁 亨恩
取締役	波多野 憲昭
常勤監査役	宮内 誠
監査役	中川 雅晴
監査役	平山 菊二

事業所	本社・奈良工場 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930 Web Site https://www.gmb.jp
	八尾工場 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番地3号 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481
	GMB Sales & Marketing Office 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町2丁目3-7 アーバンエース北浜ビル12F TEL.(06)6206-5762(代) FAX.(06)6206-5763
グループ会社	GMB NORTH AMERICA INC.(アメリカ ニュージャージー州)
	GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	AG TECH CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	GMB ELPIS CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
	青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
	青島吉明美汽車配件有限公司(中国 山東省即墨市)
	吉明美(杭州)汽配有限公司(中国 浙江省杭州市)
	吉明美汽配(南通)有限公司(中国 江蘇省南通市)
	THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.(タイ プラチンプリ県)
	THAI KYOWA GMB CO.,LTD.(タイ プラチンプリ県)
GMB RUS TOGLIATTI LLC(ロシア サマラ州トリアツチ市)	
GMB ROMANIA AUTO INDUSTRY S.R.L.(ルーマニア アルジェシュ県)	
GMB OCEANIA PTY.LTD.(オーストラリア ニューサウスウェールズ州)	

GMBネットワーク (2021年3月31日現在)

